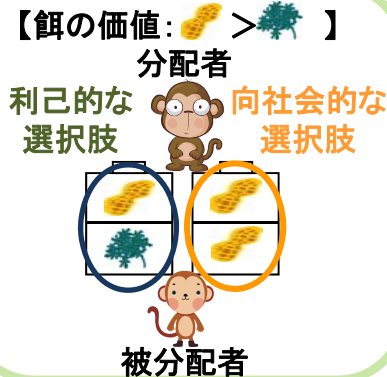
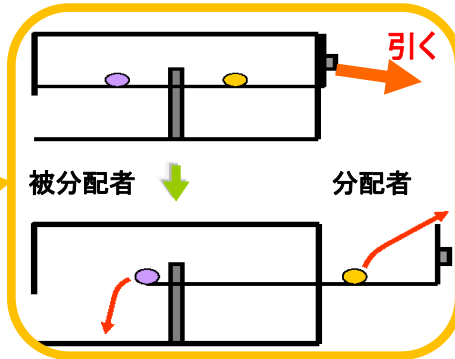
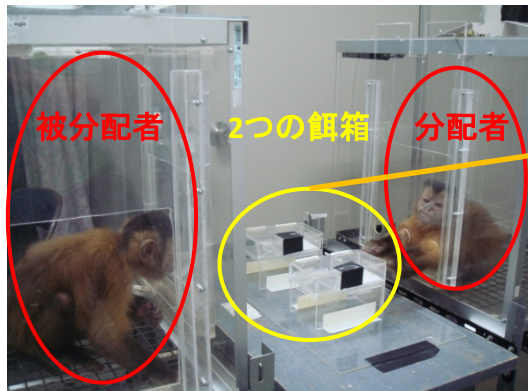


Takimoto, A., Kuroshima, H., & Fujita, K. (2010). Capuchin monkeys (*Cebus apella*) are sensitive to others' reward: an experimental analysis of food-choice for conspecifics. *Animal Cognition*, 13, 249-261 (DOI: 10.1007/s10071-009-0262-8)

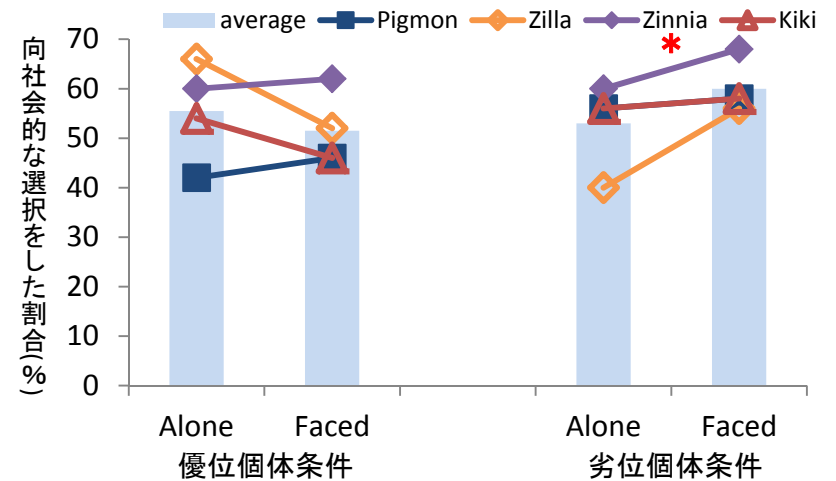
視覚的な交渉が可能な場合



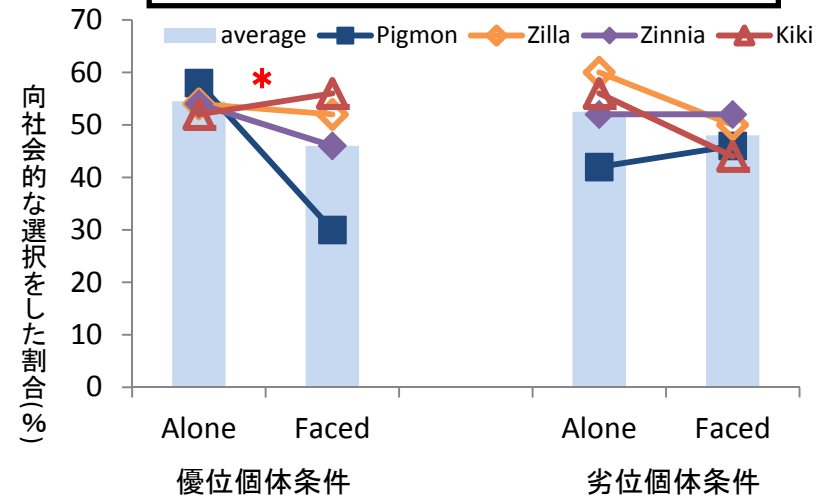
視覚的な交渉が遮断された場合



視覚的な交渉が可能な場合



視覚的な交渉が遮断された場合



フサオマキザルに、同種他個体に対する食物報酬分配をさせると、①視覚的な交渉が可能な場合、彼らは劣位個体に対して、向社会的な選択を多く行うのに対し、②視覚的な交渉が遮断された場合、被分配者に対する分配がより利己的になり、特に優位個体に対する向社会的な選択が、有意に減少した。つまり、フサオマキザルは、他個体との社会的関係を考慮して、他者を「配慮」した食物報酬分配を行うが、そうした向社会的な分配は、視覚的な交渉(催促行動など)によって維持されている、と示唆された。